

熱中症で受診された患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究課題名

「熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査（Heatstroke STUDY）」

2. 研究の対象となる方

2023年から2025年までのそれぞれ7月1日から9月30日に熱中症と診断され入院となった方。

3. 研究の目的

この研究は重症熱中症の全国規模の実態調査です。重症熱中症の病態の解明や有効な治療法を明らかにすることと、重症熱中症になった後の患者さんの状態の実情を把握し、発生の予防法などを明らかにすることを目的としています。

4. 研究の方法

この研究では、診療時の診療録から年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン（血圧や心拍数など）、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および、その後の状態に関する情報を使用します。これらの情報を「熱中症に関する全国調査（Heatstroke STUDY）」の調査用紙（Web登録）に記入し提出します。当院を含めた、日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部からも登録が行われ、調査期間終了後に研究の主管となる日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会において、集計が行われます。

5. 研究期間

成田赤十字病院 倫理委員会承認日～2025年09月30日

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、性別、既往歴、搬送情報、現場情報、生活歴、現場患者情報、身体所見、血液検査結果、入院／治療内容、入院後の状態、重症度

7. 院外への試料・情報の提供

本研究の情報は、解析の目的で日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会へ提供されます。当院の診察時に取得した情報を匿名化し、セキュリティ対策を施した回線を使用し提供します。

8. 個人情報の保護について

この研究にご参加いただいた場合、研究を通じて得られた患者さんの記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、研究を通じて得られた患者さんの記録は、個人情報保護のため匿名化され、番号等 個人が特定できない形式により管理されます。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。）

但し、学会や論文で発表した後など、不参加の意思を表明した時期によっては情報の削除ができない場合もありますのでご理解ください。

10. 研究組織

【研究組織】

研究代表者： 帝京大学医学部救急医学講座 三宅 康史

当院研究責任者：成田赤十字病院 救急・集中治療科 齋藤 大輝

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

成田赤十字病院 院長 青墳 信之

11. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究における開示すべき利益相反はありません。

12. 連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

成田赤十字病院

研究責任者：救急・集中治療科 齋藤 大輝

住 所：〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

電 話 番 号：0476-22-2311（代）

以上